

●『横浜の空襲と戦災』全6巻

1 体験記編

横浜市・横浜の空襲を記録する会／編

横浜市／発行、1976年3月31日

本文599ページ、口絵写真 [8ページ]、22センチメートル

2 市民生活編

横浜市・横浜の空襲を記録する会／編

横浜市／発行、1975年10月31日

本文574ページ、口絵写真 [8ページ]、22センチメートル

3 公式記録編

横浜市・横浜の空襲を記録する会／編

横浜市／発行、1975年3月31日

本文583ページ、口絵写真 [8ページ]、22センチメートル

4 外国資料編

横浜市・横浜の空襲を記録する会／編

横浜市／発行、1977年1月31日

本文514ページ、口絵写真 [8ページ]、22センチメートル

5 接収・復興編

横浜市・横浜の空襲を記録する会／編

横浜市／発行、1977年3月31日

本文526ページ、口絵写真 [8ページ]、22センチメートル

6 世相編

横浜市・横浜の空襲を記録する会／編

横浜市／発行、1975年1月31日

本文572ページ、口絵写真 [8ページ]、22センチメートル

●横浜空襲・戦災誌編集委員

(最終刊行第5巻巻末掲載)

1 常任編集委員

(代表) 服部一馬	横浜市大教授
今井清一	横浜市大教授
須藤英雄	紫雲会(横浜病院)理事長
松信泰輔	株式会社有隣堂社長
松林義幸	横浜市総務局長
斎藤秀夫	横浜の空襲を記録する会事務局長
(前) 小泉富太郎	(昭和50年5月まで)

2 編集委員

阿津坂林太郎	横浜市大講師
石井喬	県立横浜平沼高校教諭
伊豆利彦	横浜市大教授

市川亮一	一橋大学大学院生
内田四方蔵	横浜市文化財研究調査会副会長
小田康雄	横浜市立港高校教諭
影山三郎	立教大学教授・横浜市大講師
金井四一郎	県立横須賀高校職員
熊沢正一	歌人
郷静子	作家
小柴俊雄	神奈川県史編集室編集第一係長
近藤東	詩人
田中勇輔	都市問題研究家
中丸和伯	相模工大教授
長尾正良	翻訳家
福井経正	東京都中央区監査事務局長
古沢太穂	俳人
松浦総三	東京大学講師
宮本功	都立大学大学院生
山極晃	横浜市大教授
山田操	神奈川大学教授
山本健次郎	横浜市立金沢中学校長
渡辺悦次	法政大学講師・大原社会問題研究所嘱託